

第3回 IMA 小委員会議事録

開催日時：2022年5月21日（土）13：00-13：30

開催形態：オンライン会議（Zoom）

参加者：大谷栄治・阿依アヒマディ・井上 徹・榎並正樹・大藤弘明・
鍵 裕之・土屋 旬・土屋卓久・富岡尚敬・坂野靖行・宮脇律郎・
塚本尚義・小西博己・西山忠男

1. 議事録の委員長一任について

学術会議の規定により、本会議の議事録を委員長に一任することにした。

2. IYBSSD-Year of Mineralogy について（大谷）

IMA において、Year of Mineralogy の Flyer の日本語版の原案を IMA に送った。
IMA の事務局で最終版を準備中。

3. 学術会議の IYBSSD 連絡会議の報告（大谷は広報委員の一人）

第一回フォーラムの予定がほぼ決まり、第二回フォーラムを検討中。各学会に協賛の登録を依頼した。鉱物科学会、地質学会、JpGU などは登録済み。催し物を計画する場合には、学術会議の IYBSSD のロゴ、Year of Mineralogy のロゴの使用を推奨する。

4. IMA CM 報告（坂野）

2021年12月14日と2022年3月2日に開催された IMA 博物館委員会（CM）のビジネスミーティング（Zoom meeting）に坂野が出席した。議題は国際会議 M&M10(2024)開催地選定方法についてであった。議論の結果、開催地選定方法に関するガイドラインが締結され、それによって英国と中国から開催立候補の提案書が提出された。JAMS 博物館委員会内においてメールベースでそれらの検討を行い、日本からは英国に投票することを決めた。国際投票の結果、次回開催地は英国（Cardiff, Wales）となった。

5. IMA2022 報告（大藤）

IMA 定例評議会が2021年12月10日と2022年4月19日に開催された。議論の内容と報告事項は以下の通り。

(1) IMA 2022 Lyon の参加登録者は現時点で 500 数十名。コロナ禍とウクライナ情勢のため、通常の半数程度に留まっている。日本からの参加者も少ない。ハイブリッド開催も検討されたが、費用の点で実施できないと判断された。セッション

ョンを併合するなど、規模を縮小してオンサイトのみで開催する予定。現地 LOC が独自の判断で、ロシア・ベラルーシの研究者の参加を認めない方針を示したことが問題となっている。

(2) IMA 2026 は中国南京で開催予定。

(3) IMA の各コミッションの評価が行われた。活動が不十分であるなど、いくつか問題を指摘されたコミッションがあった。

(4) 各国の加盟学術団体の現状報告がなされた。加盟料の支払が滞っている団体がある。また音信がとれない団体も出てきている。

(5) 財政状況の報告がなされた。

6. その他

(1) 学術会議に提出する IMA 小委員会活動状況報告書に記載する事項への情報提供が求められた。

(2) 2023 年 10 月に国際宝石学会が日本で開催予定である。

以上